

ツナガルむらかみ2026

問むらかみ暮らし推進課移住定住推進室（☎75-8926）

○「ツナガルむらかみ2026」とは

「ツナガルむらかみ2026」は、新潟日報社が主催する産学官連携プロジェクト「にいがた鮭プロジェクト」と村上市がタイアップして実施している、村上市を離れて暮らしを始める学生が故郷に戻りたくなるきっかけをつくるための事業です。

具体的には、今の村上市の「暮らし・ひと・ひと」を紹介する動画や記事、冊子などの制作と、12月の東京での対面イベントを実施します。

この事業が生まれたきっかけは、昨年東京で実施した対面イベント「ツナガルむらかみ2025」。来場した村上市出身の学生たちから多く聞かれた、「就職に関する情報や、Uターンなどの情報が足りない」という声でした。

実際の学生と交流することで「仕事や暮らしについての情報発信の不足」という課題が浮き彫りとなり、「ツナガルむらかみ2026」が始動しました。

○学生記者が見る、村上市の「暮らし・ひと・ひと」

8月初旬から、新潟県内の大学に通う学生たちで構成された、にいがた鮭プロジェクトの学生運営メンバーである「チームいくらちゃん」による村上市内5地域の取材が始まりました。

村上市域は「文化と観光」、荒川地域は「食」、神林地域は「農業」、朝日地域は「山と川」、山北地域は「しな布と漁業」をテーマに、学生たちはその地域で働く・暮らしを選択した人（ナビゲーター）と各地域を巡りながら、仕事のやりがいから休日の過ごし方まで、さまざまなお話を伺っていました。

学生たちがナビゲーターと休憩時間や移動中の車内でも熱心に話をしている姿や、街並みや自然、食などに感動している姿も見られ、非常に実りある取材となりました。

村上市学生支援公式Instagram「むらかみ学生ネットワーク」では、各地域での取材の様子を動画で見ることができ、ほか、イベントの続報なども配信予定です。ぜひご覧ください。

▲ナビゲーターと学生たちの初顔合わせの様子



▶学生たちの打ち合わせ風景。学生自ら取材に行きたい地域を選びました。



MURAKAMI_STUDENT_SUPPORT

各地域での取材の様子



村上

ナビゲーター
藤基神社 小島盛康さん



▲藤基神社の境内で、小島さんにインタビューをする学生たち



▲富士美園で村上茶をいただきながら、若手社員の方にお話を伺う学生たちと小島さん



▲牛舎を見学する学生たち。牛もこちらに興味津々。



▲三田さんへのインタビュー後、Santaふぁーむの丸メンチをいただく学生たち



▲青葉組の事務所で佐藤さんにインタビューをする学生たち



▲現場にお邪魔して、若手団員からもお話を伺う学生たち

荒川

ナビゲーター
Santaふぁーむ 三田美明さん

神林

ナビゲーター
寺坂樹乃さん



▲寺坂さんが管理をしている田んぼで、お米の育て方を教わる学生たち



▲野澤食品工業で、籾入れを体験する学生たちと寺坂さん

山北

ナビゲーター
集落支援員 丹羽梢さん
マルチ鮮魚 本間大樹さん



▲丹羽さんによるしな布の解説を熱心に聞く学生たち



▲海を見ながら、本間さんにお話を伺う学生たちと丹羽さん

朝日

ナビゲーター
青葉組 佐藤剛さん